

三股町景観形成基準

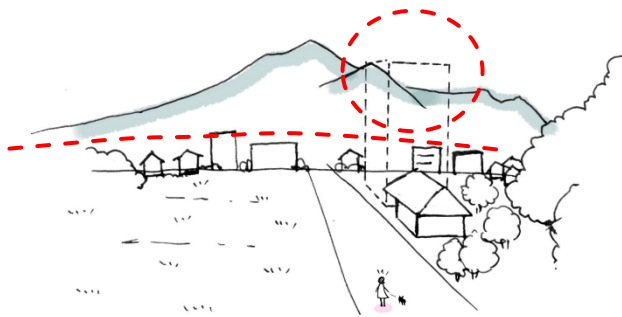
町内で届出対象行為ごとの良好な景観形成のための基準は次のとおりとします。

なお、本町の良好な景観の形成に大きく影響を及ぼすものに対して事前の届出対象としますが、届出対象とならない行為や規模についても、景観形成基準に適合するよう努めてください。

建築物																											
配置規模	<ul style="list-style-type: none"> ○「みどりと里山ゾーン」と「居住と田園ゾーン」の特性にあわせた周辺の山なみや街なみの連続性に配慮した配置、高さとなるよう努める。 ○主要な視点場から展望する場合、著しい妨げにならないような配置、高さとなるよう努める。 【太陽光発電設備を建物の屋根や屋上に設置する場合】 ○勾配屋根に設置する場合は、太陽光発電設備の最上部が当該建築物の最上部を超えないよう努め、屋根と一体化させるように工夫する。 ○陸屋根に設置する場合は、太陽光発電設備の最上部をできるだけ低くし、建築物と一体化させるよう努める。 																										
形態意匠	<ul style="list-style-type: none"> ○背景にある豊かな自然景観に配慮し、外壁に自然素材や自然素材を模したものを使用するなど周辺と調和するよう努める。 ○周辺の建築物を大きく超えるような大規模な壁面をできるだけ避け、形態の工夫などで圧迫感を感じさせないよう周辺の景観に与える影響を軽減するよう努める。 																										
屋外設備など	<ul style="list-style-type: none"> ○道路など公共の場所から容易に目にするのできる位置には設置しないよう努める。困難な場合は、建築物本体と一体化し同調して目立たないように工夫する。 																										
色彩	<ul style="list-style-type: none"> ○「みどりと里山ゾーン」と「居住と田園ゾーン」の特性にあわせた周辺の景観と調和するような色彩とし、以下の色彩基準に適合したものとする。 【色彩基準】 (建築物の色彩) ○外観の壁、屋根はそれぞれ以下のマンセル値の範囲内とする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>色相</th> <th>明度</th> <th>彩度(基準値)</th> <th>彩度(推奨値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">壁</td> <td>0R~5Y</td> <td>7.5 以下</td> <td>4 以下</td> <td>3 以下</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>7.5 以下</td> <td>2 以下</td> <td>2 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根</td> <td>0R~5Y</td> <td>6 以下</td> <td>3 以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6 以下</td> <td>2 以下</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※表面に着色を施していない木材や土壁等の自然素材、金属板、スレート、ガラスなどの素材色は、適用を除外する。 ※寺社仏閣ならびに景観向上に大きく寄与するとして町長が特別に認めたものについては、本基準の適用を除外する。 ※畜産業に供する施設のうち、施設機能上基準に適用しにくいものは、その都度協議を行い決定する。 (屋根や屋上に設置する太陽光発電設備) ○太陽電池モジュールの色彩は、「黒色又は濃紺色」若しくは周辺の景観と調和する低明度かつ低彩度のものを使用する。 ○架台や枠の色彩は、太陽電池モジュール部分と同等とし、素材は低反射のものを使用する。 				部位	色相	明度	彩度(基準値)	彩度(推奨値)	壁	0R~5Y	7.5 以下	4 以下	3 以下	その他	7.5 以下	2 以下	2 以下	屋根	0R~5Y	6 以下	3 以下		その他	6 以下	2 以下	
部位	色相	明度	彩度(基準値)	彩度(推奨値)																							
壁	0R~5Y	7.5 以下	4 以下	3 以下																							
	その他	7.5 以下	2 以下	2 以下																							
屋根	0R~5Y	6 以下	3 以下																								
	その他	6 以下	2 以下																								

外構 緑化	<p>○道路など公共の場所から容易に目にすることのできる敷地では、周辺や背景の自然景観と調和するよう緑化に努める。</p> <p>○商業や工業施設などの駐車場は、殺風景とした印象とならないよう敷地内の緑化による修景に努める。</p> <p>○安全面に十分配慮し、既存の樹木をできる限り保全するよう努める。</p> <p>○塀や柵などを設ける場合には、閉鎖的なものは避け、植栽、自然素材のものなどを用いるよう努める。</p> <p>○安全面に十分配慮し、地域の景観として特徴づけられている石垣はできる限り保全に努める。</p>
----------	--

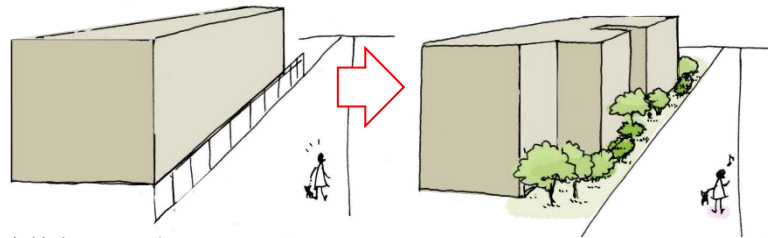
■建築物の配置、高さの工夫と配慮



山の稜線を分断していると、せっかくの眺めが台無しです。

建物や屋根の形や高さがそろっていると、まとまり感があるように見えます。

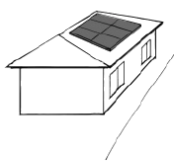
■大規模な建築物の外壁の工夫と配慮



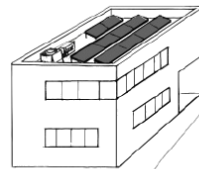
大規模な建築物は圧迫感を与えやすい。

より印象を和らげるための例
 ・建物の形を工夫する。
 ・植栽により見える範囲を小さくする。

■建築物の屋根や屋上に設置する太陽光発電施設

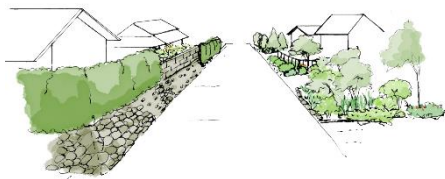


勾配屋根の場合は、建築物の屋根と一体化するよう最上部を超えないように配置する。

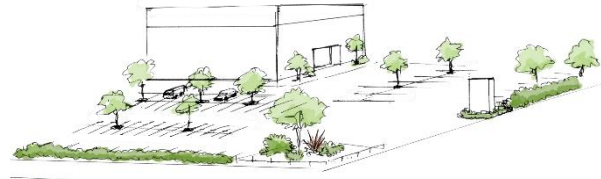


陸屋根の場合は、最上部をできるだけ低く設置するケーブルなどにより目立たないように工夫する。

■外構・緑化の工夫と配慮



建物の周辺は地域の素材や、植栽などにより、周辺との調和を図る。

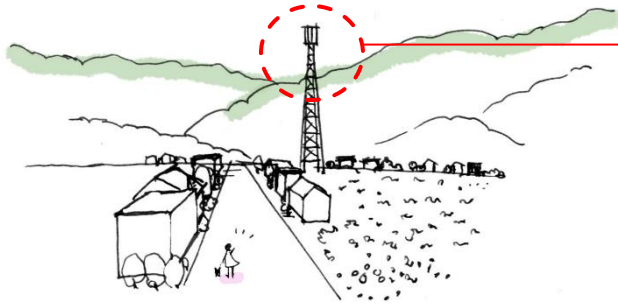


駐車場などはできる限り緑化に努める。

工作物																				
配置規模	<p>○「みどりと里山ゾーン」と「居住と田園ゾーン」の特性にあわせた周辺の山なみや街なみの連続性に配慮した配置、高さとなるよう努める。</p> <p>○主要な視点場から展望する場合、著しい妨げにならないような配置、高さとなるよう努める。</p> <p>【地上に太陽光発電施設等を設置する場合】</p> <p>○周辺の景観との調和に配慮するとともに、道路、公園、歴史的資源などの公共の場所から目立たないよう工夫する。</p> <p>○尾根線上、傾斜地、高台又は棚田周辺での設置はできる限り避ける。</p> <p>【送電用や通信用の鉄塔、その他これらに類するもの】</p> <p>○できる限り他の事業者との共同設置や共用化等について協議し周辺への影響に配慮する。</p>																			
形態意匠	<p>○背景にある豊かな自然景観に配慮し、外観に自然素材や自然素材を模したものを使用するなど周辺と調和するように努める。</p> <p>○周辺の建築物を大きく超えるような大規模な壁面をできるだけ避け、形態の工夫などで圧迫感を感じさせないよう周辺の景観に与える影響を軽減するよう配慮する。</p>																			
屋外設備など	<p>○道路など公共の場所から容易に目にすることのできる位置には設置しないよう努める。困難な場合は、本体と一体化し同調して目立たないよう工夫する。</p>																			
色彩	<p>○周辺の自然景観やまちなみと調和するような色彩とし、以下の色彩基準に適合したものとする。</p> <p>【色彩基準】</p> <p>○工作物の外観はそれぞれ以下のマンセル値の範囲内とする。</p> <table border="1" data-bbox="430 1159 950 1274"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>色相</th> <th>彩度（基準値）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">外観</td> <td>0R～5Y</td> <td>4 以下</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>※表面に着色を施していない木材や土壁等の自然素材、金属板、スレート、ガラスなどの素材色は、適用を除外する</p> <p>（地上に設置する太陽光発電設備）</p> <p>○太陽電池モジュールの色彩は、黒色又は濃紺色若しくは周辺の景観と調和する光沢の少ない低明度かつ低彩度のものを使用する。</p> <p>○架台や枠の色彩は、モジュール部分と同等とし、素材は低反射のものを使用する。</p> <p>○パワーコンディショナなど付属設備の色彩は、周辺の景観と調和する色彩とする。</p> <p>（鉄塔等）</p> <p>○亜鉛メッキ色または、設置場所により背景に溶け込むような色彩とし、低光沢の仕上げとする。</p> <table border="1" data-bbox="422 1802 1112 1940"> <thead> <tr> <th>背景</th> <th>明度</th> <th>彩度</th> <th>仕上げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空の場合</td> <td>N7 程度</td> <td>—</td> <td rowspan="2">低光沢</td> </tr> <tr> <td>樹林地の場合</td> <td>8 未満</td> <td>1 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>（フェンス・柵）</p> <p>○鉄塔の基礎部分や設備機器類を遮蔽するために設けるフェンスや柵の色彩は、亜鉛メッキ色（低光沢）または茶系（10YRを推奨）で中・低明度、低彩度のものとする。</p>	部位	色相	彩度（基準値）	外観	0R～5Y	4 以下	その他	2 以下	背景	明度	彩度	仕上げ	空の場合	N7 程度	—	低光沢	樹林地の場合	8 未満	1 以下
部位	色相	彩度（基準値）																		
外観	0R～5Y	4 以下																		
	その他	2 以下																		
背景	明度	彩度	仕上げ																	
空の場合	N7 程度	—	低光沢																	
樹林地の場合	8 未満	1 以下																		

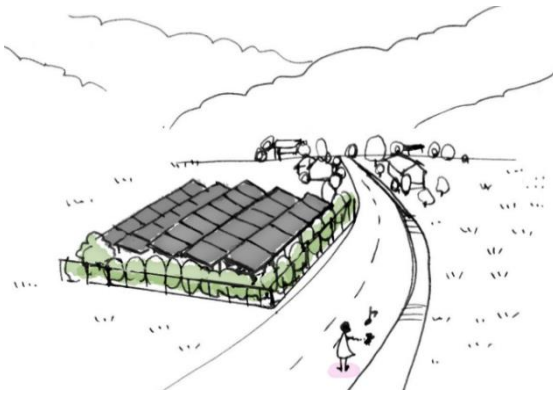
外構 緑化	<ul style="list-style-type: none"> ○道路など公共の場所から容易に目にするのできる敷地では、周辺や背景の自然景観と調和するよう緑化に努める。 ○安全に配慮しながら既存の樹木をできる限り保全する。 ○塀や柵などは植栽と一体となった意匠となるよう努める。 ○太陽光発電施設等や鉄塔等の周囲は、生垣の設置などにより緑化に努める。
----------	--

■工作物の配置と高さの工夫と配慮



山の稜線を分断していると、せつかくの眺めが台無しです。
道路から見えにくい位置や山の稜線を遮らないような位置を選定するよう努める。

■地上に設置する太陽光発電施設の工夫と配慮



地域で大切に思っている視点場から太陽光発電が見えると、せつかくの眺めが台無しです。

やむをえず視点場や道路から目立つ場所に設置する場合には、植栽などに周囲から見えにくくなるよう努める。



開発行為、土地の形質の変更

- 土地の造成を行う際は、地形をいかし地形の改変が最小限となるよう努める。
- 樹木の伐採は極力抑え、周辺との調和を図るため必要に応じて周囲に中低以上の木を植栽するなどできる限り緑化を行う。
- 擁壁については、自然石、自然石を模したブロックや植栽などにより目立たないよう工夫する。

■開発行為における工夫と配慮

- ・擁壁を使う場合には、前面に植栽をするなど、緑化に努める。
- ・周辺は、高木や低木など十分な緑化に努める。



土石の採取、鉱物の採掘

- 道路など公共の場所から容易に目にするのできる場所では、地肌の露出が目立たないように採取、採掘の位置等の工夫を行う。
- 既存の樹木などはできる限り保全、活用する。

■土石の採取、鉱物の採掘における工夫と配慮

- ・道路など公共の場所から見えにくくなるよう植栽もしくは景観に配慮した柵や塀などで遮蔽に努める。
- ・採取、採掘後は緑化など修景に努める。

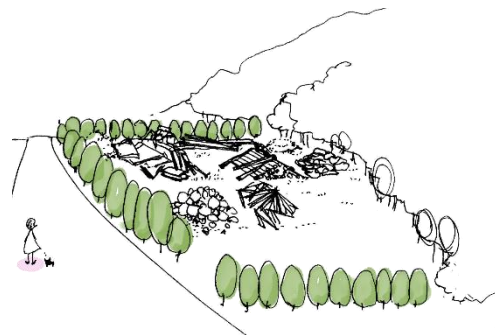


屋外における物件の集積

- 道路など公共の場所から容易に目にするのできる敷地では、周辺や背景の自然景観と調和するように緑化に努める。
- 堆積の高さは必要最小限に抑え、植栽や塀による遮蔽を行うなど配慮する。

■屋外における物件の集積における工夫と配慮

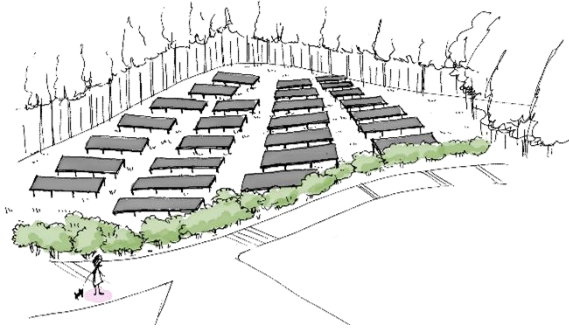
- ・道路など公共の場所から見えにくくなるよう植栽もしくは景観に配慮した柵や塀などで遮蔽に努める。
- ・堆積物は整理し、できる限り低く配置する。



木竹の伐採（天然更新・植林を行うものは対象外）

- 道路など公共の場所から容易に目にするのできる場所の林地開発を行う場合は、伐採面積が最小限となるよう努め、伐採の場所や方法、伐採後の植栽等で周辺との景観との調和に配慮する。

■木竹の伐採における工夫と配慮

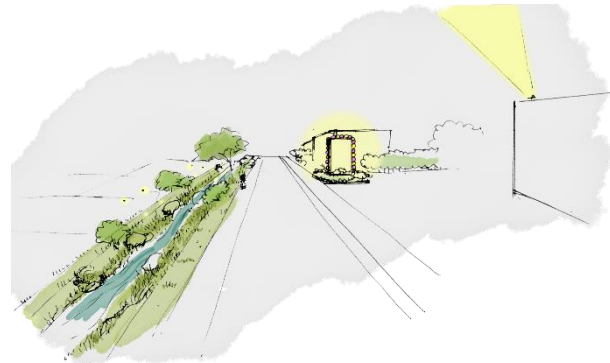


- ・林地開発を行う際は、道路等の公共の場所から見えにくくなるよう植栽もしくは景観に配慮した柵や塀などで遮蔽に努める。

特定照明

- 星が美しい場所、ホタルが飛ぶ時期など地域の夜間景観を損なわないよう、過度の明るさや色彩の照明を用いないよう配慮する。
- 過剰な光が周囲に拡散しないよう配慮する。
- ネオンや動きのある照明はできる限り使用しないこととし、やむを得ず使用する場合は、期間や時間帯に十分配慮する。

「特定照明」とは、景観法施行令第4条に定義される「特定照明」のことで、夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物その他の工作物または物件の外観について行う照明



その他機器

- 自動販売機を道路など公共の場所から容易に目にするのできる場所に設置する場合は、周辺の自然景観やまちなみと調和するような色の選定に配慮し、自然素材で囲うなどできる限り工夫する。

